

地方都市における都市開発の実態と動向の評価―群馬県・太田市を対象として―

前橋工科大学 学生会員 ○黒澤 順
前橋工科大学 正会員 森田 哲夫

1. はじめに

(1) 研究の背景

国土交通省は、地方では人口減少、少子高齢化、地域経済の縮小、インフラや施設の老朽化、中心市街地の衰退といった問題を抱えており、これらの問題は年々深刻化しており、これらの状況に対処するには、官民が連携し、民間の消費、投資を喚起するまちづくりが重要であるとしているため、本研究では、地方都市の都市開発に着目することとした。

(2) 研究の目的

本研究では、地方都市の群馬県太田市について、都市開発の実態と動向を評価、今後の都市開発の方向性について評価することを目的とする。

(3) 既往研究と本研究の位置付け

福田ら¹⁾や、山川²⁾は、地方都市の中心市街地における都市再開発の必要性について指摘した。また、村橋ら³⁾は、土地区画整理事業の整備効果について指摘した。本研究では、都市開発の現状と今後の動向を把握したうえで、都市開発に関する意向から今後の都市開発について評価する。

2. 研究の構成

(1) 研究対象地域の選定

国土交通省は、「地方とは、三大都市圏を除く地域をいう」と定めている。三大都市圏において最も人口が集中している東京圏は、「東京都特別区、さいたま市、川崎市、横浜市、相模原市及びこれらに対する通勤・通学 10%圏に含まれる市町村」と定義されており、関東地方において東京圏に属する市町村を有しない群馬県を研究の対象地域として選定した。群馬県において人口 20 万人を越える都市は、前橋市、高崎市、太田市、伊勢崎市の 4 都市であり、この中で最も人口集中地区における人口密度が低い都市が太田市であるため、群馬県太田市を研究の対象地域として選定した。

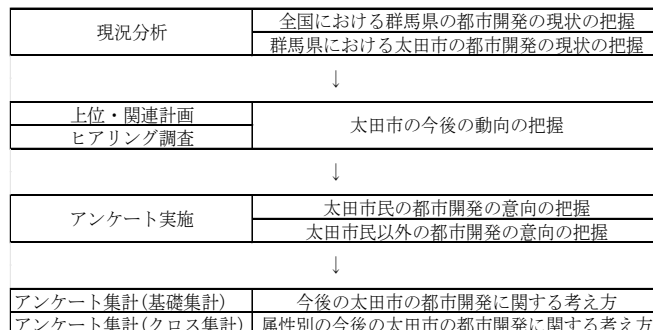


図 1 本研究のフロー

(2) 研究方法

研究フローを図 1 に示す。はじめに、都市開発において、研究対象地域である群馬県太田市が、全国・群馬県から見てどのような立ち位置にあるのか、都市計画現況調査⁴⁾、QGIS を用いて明らかにする。次に、今後の都市計画の動向を、上位・関連計画、ヒアリング調査により明らかにする。また、アンケート調査の実施により、太田市民の都市開発の意向、太田市民以外の都市開発の意向を把握し、上位・関連計画、ヒアリング調査により得られた太田市の都市開発の今後の動向を、太田市民の意向を考慮して評価する。

3. 現況分析

(1) 全国から見た群馬県の都市開発の実態

全国と比較した群馬県の都市開発の実態として、全国における土地区画整理事業の約 2.3%、市街地再開発事業の約 0.53%が群馬県によるものである。また、人口当たり・面積当たりの土地区画整理事業・市街地再開発事業の施工済み面積を見ると、人口当たりの土地区画整理事業面積は全国で 7 番目に多く、面積当たりの土地区画整理事業面積は全国で 14 番目に多い数値となった。一方、人口当たりの市街地開発事業面積・面積当たりの市街地再開発事業面積はそれぞれ全国で 35 番目・25 番目であり、全国と比較すると市街地再開発事業は少ないといえ、今後の都市開発が期待される。

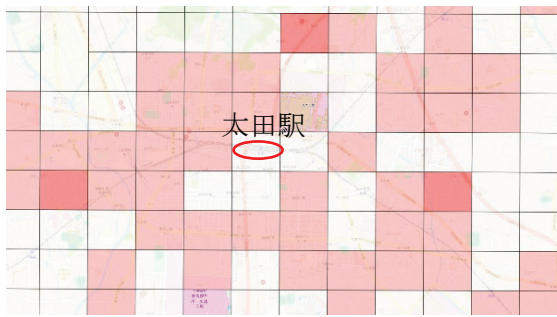


図2 太田駅周辺の人口分布

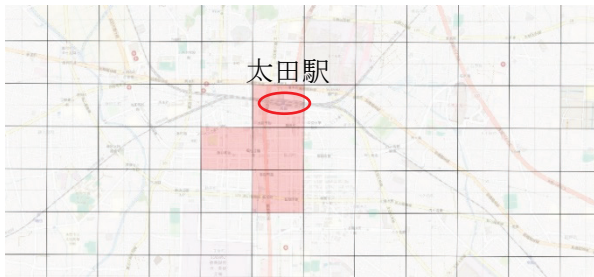


図3 太田駅周辺の事業所分布

(2) 群馬県から見た太田市の都市開発の実態

群馬県と比較した太田市の都市開発の実態として、群馬県における土地区画整理事業の約 12%，市街地再開発事業の約 42%が太田市によるものであり、群馬県において特に太田市は、市街地再開発事業に力を入れているといえる。

(3) 太田駅周辺の人口・土地利用

太田駅周辺の人口・土地利用について、事業所は太田駅南口周辺に集中していることが、QGIS を用いた現況分析により明らかになった。また、人口は、太田駅周辺より離れた地域に集中していることが明らかになった。

(4) 太田市の都市開発の動向

太田市は、都市計画マスタープラン⁵⁾では、都市づくりの理念の一つとして「中心市街地の機能集積と郊外の「まちのまとまり」を維持した暮らしやすいまちづくり」を掲げている。また、交通に関する整備方針として、すべての地区において幹線道路・公共交通の両方を挙げている。これらから、今後の動向として、駅周辺に限らず郊外部の都市開発も行う方針であり、公共交通・自家用車の利便性を高める都市開発を行う動向があると考ええる。

4. アンケート調査の方法と分析

(1) 調査方法

表 1, 2 は、本研究で実施したアンケート調査の概

表 1 調査 1(駅周辺イベント来訪者)の概要

調査名	太田駅周辺のまちづくりに関するアンケート調査
調査対象	太田駅周辺イベント来訪者
調査方法	調査場所における配布・回収
調査日	2023年9月17日
回収数	37票
調査内容	個人属性、都市開発の意向

表 2 調査 2(太田市民)の概要

調査名	太田駅周辺のまちづくりに関するアンケート調査
調査対象	太田市民
調査方法	Webアンケート調査
調査日	2024年1月
回収数	400票
調査内容	個人属性、都市開発の意向

要である。本研究では、駅周辺イベント来訪者を対象とした調査、太田市民を対象とした Web 調査により、個人属性、都市開発の意向の調査を行う。

(2) 分析方法

まず、基礎集計を行い、次に、個人属性と都市開発に関する意向の各項目のクロス集計を行い、太田市民と太田市民以外のそれぞれの都市開発に関する意向を把握する。その後、ヒアリング調査・現況分析により得られた太田市の都市開発の動向を、太田市民の意向と比較して評価を行う。

5. まとめ

現況分析では全国と比較した群馬県、群馬県と比較した太田市のそれぞれの都市開発の特性を把握した。全国と比較し市街地再開発事業が少ない群馬県の中で、太田市は多くの市街地再開発事業を実施していることが明らかになった。また、市民の意向から太田市における都市開発の方向性を評価した。

参考文献

- 1) 福田綾，大谷万里絵，今井剛志，金錦，橋爪孝介，村上翔太：飯田市中心市街地における再開発事業の展開と地域活性化，地域研究年報，35 号，pp.27-43，2013
- 2) 山川充夫：地方都市中心市街地の再構築と都市空間経済学，日本経済と地域構造，pp.252-271，2014
- 3) 村橋正武，戸田常一：土地区画整理事業の整備効果分析-新市街地地区をケーススタディとして-，土木学会論文集，No. 458，pp.81-90，1993
- 4) 国土交通省：都市交通調査・都市計画調査，2022
- 5) 太田市：太田市都市計画マスタープラン，2018